

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 井原精機株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 715-0021 井原市上出部町431-3					
本票作成	部署名 : 管理部 総務グループ									
主たる業種	分類コード	31	業種名 : 輸送用機械器具製造業							
事業の概要	自動車部品の製造									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	笠岡工場			笠岡市茂平1234					
	②	総社第二工場			総社市久代1920-2					
	③	総社工場			総社市真壁1500					
	④	井原本社			井原市上出部町431-3					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)									

計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度 (5 箇年度)										
削減目標	いずれかを選択	総排出量基準	目標削減率 23.4 %	目標区分 ○	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満		
		原単位基準									
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)				目標年度 (令和 11 年度)						
	8,450 t CO ₂				6,476 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量						
	①	笠岡工場			5,060 t CO ₂						
	②	総社第二工場			2,872 t CO ₂						
	③	総社工場			437 t CO ₂						
	④	井原本社			81 t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

政府見解に合わせ、基準年を平成25年度（2013年度）に設定し、目標の設定を行った。

（本計画はその数値を基に、令和6年度を100%とした計画を策定）

削減率については2050年カーボンニュートラルに向けた総排出量での目標値を設定。

【目標削減率達成のための推進体制】

2021年4月に社長を委員長としたSDGs推進委員会を立上げ、カーボンニュートラルに向けた活動の推進を行っている。2025年度9月よりカーボンニュートラルの推進を目的として新しく全社横断のチームを立ち上げる予定。

(社内調整中)

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
笠岡工場、総社第二工場	<ul style="list-style-type: none"> 工場内照明の省エネ照明化（ライン新規設置・変更時） 太陽光発電の導入（合計340kWをPPAで導入） 加工ライン等の集約（2024年度末に完了） ※井原工場→笠岡・総社第二に設備集約
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> 高効率ラインの設置、冷間鍛造の活用（ニアネットシェイプ活動推進） 受電設備の高効率トランスへの更新
井原工場、笠岡工場、総社第二工場	<ul style="list-style-type: none"> 低稼働ラインの撤去、加工ライン等の集約 油圧ポンプの自動停止化（新規設備導入時） 年度毎に電力会社を選定。選定期にCO₂排出係数を考慮して選定。（2020年度以降実施、総社工場は共同受電のため対象外）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全工場	<ul style="list-style-type: none"> 工場証明の省エネ照明化（ライン新規設置・変更時）・・・継続実施 DX化（又はデジタル化）の推進による無駄の削減 低稼働ラインの撤去、高効率ラインの設置
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> 冷間鍛造の活用（ニアネットシェイプ活動推進） コンプレッサーの更新（レシプロ機→インバーター機） 受電設備の高効率トランスへの更新（2台/年を更新継続） レンタル活用（高効率照明への転換、空調機の更新 等） ※25年度上期実施
笠岡工場、総社第二工場	<ul style="list-style-type: none"> 工場内熱溜まりの解消（空調機の負担減）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

2024年度に設置以外の太陽光発電の導入も検討していたが、建屋の耐荷重等により一度見送り。今後も継続で設置可能な方法を調査していきます。